

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語／理科に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国平均を上回っており、学習の定着がみられます。特に「読むこと」と「書くこと」で高い定着があり、日頃からの継続した取り組みの成果がみられます。
- ・数学の平均正答率は全国平均を上回っており、学習の定着がみられます。学習指導要領における「数と式」、「図形」、「関数」、「データの活用」のすべてにおいて全国平均を上回っています。問題別の正答率では、「素因数分解」と「箱ひげ図」で全国平均を下回り、知識や理解の定着に課題がみられます。
- ・理科の平均正答率は、「エネルギー」、「粒子」、「生命」、「地球」のすべてにおいて全国平均を上回っています。問題別の正答率では、全国平均を上回っていますが、「力のつりあい」において課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向があるとみられる項目
「朝食を毎日食べている」、「自分にはよいところがあると思う」、「将来の夢や目標をもっている」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「新聞を読んでいます」「読書は好きです」とした生徒の割合が低い数値を示しています。

2 これからの取組について

- ・国語では、話し合いの方向性を捉えて自分の考えが分かりやすく伝わるよう、工夫して表現する活動を取り入れることにより、「書く力」を高める授業の工夫をしていきます。
- ・数学では、計算力のさらなる向上を図るとともに、図形をさまざまな角度から捉える力を高めていくような授業づくりに取り組みます。また、規則性に関する問題や資料の分析に関する問題に数多く取り組みながら、数学的なものの見方や考え方をさらに伸ばしていくような活動を取り入れます。
- ・理科では、実験や観察の結果をもとに考察することで、知識・思考力ともに高めていくような授業づくりに取り組みます。
- ・朝読書の時間をこれからも継続し、本に親しむ機会を毎日設定していきます。また、課題を適切に与え、家に帰ってから自分が何をすればよいのか考えられるように仕向けていくような活動を工夫します。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・生徒が規則正しい生活を送ることができているのは、家庭や地域の御協力によるものです。これからも規則正しく健康的な生活のために、食事・睡眠・生活リズムの質の向上を心掛けていただきたいと思います。
- ・日頃から生徒の話を聞いてもらうことで、家庭での安心感を醸成していただくとともに、生徒のやる気を高めていただくことをお願いいたします。